

令和7年度 全国学力・学習状況調査 松本市立小中学校における結果概要と考察

調査概要

- ◇調査対象：小学校第6学年、中学校第3学年
- ◇調査実施日：令和7年(2025年)4月14日(月)～17日(木)
- ◇調査内容：1. 教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)
2. 学習状況等に関する質問調査(児童質問調査、生徒質問調査、学校質問調査)

教科に関する調査結果

- ◇平均正答率：・小学校…国語・理科が全国をやや上回り、算数は全国と同程度である。
・中学校…国語・理科が全国を上回り、数学はやや上回った。
※全国との差が1ポイント未満の場合は「やや上回る(やや下回る)」、差が1ポイント以上の場合は「上回る(下回る)」としました。
- ◇正答率の割合：・正答率4割以下の児童生徒の割合は、全教科で全国より少ない。
※特に中学校国語・理科では、全国より5ポイント以上少ない。
・正答率8割以上の児童生徒の割合は、全国と同程度又は少ない。
※小学校理科と中学校国語が全国と同程度だったが、他の4教科は少ない。

学習状況等に関する質問調査結果

- ◇質問調査の結果：・特徴的な結果は、本報告書の3頁以降に掲載した。

考察

- 平均正答率は小中学校ともに全国を上回り、この傾向は平成31年度以降続いています。正答率4割以下の児童生徒の割合が少ない状況であることから、学習が苦手な児童生徒に対する指導の成果が表れていると考えられます。
- 正答率8割以上の児童生徒の割合は、小中学校ともに少ない状況です。この要因の一つとして、学習が得意な児童生徒の伸びる力を一層伸ばすことが十分にできていないことが挙げられます。
- 中学校理科において、探究の過程に基づく活動(観察、実験の実施や計画立案、振り返りなど)が全国よりも活発で、平均正答率も高い状況は、調査結果から読み取れる特筆すべき点です。
- 総合的な学習の時間において、児童生徒が自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表する等の学習に取り組むことは、小中学校ともに学習指導要領改訂前(平成31年度)よりも大幅に改善しています。これは、探究的な学びの充実が図られている成果であると考えられます。
- 児童生徒の自己肯定感や幸福感等が高まっていることが考えられる一方で、学校生活や人間関係の満足度等に関しては課題が見られます。松本市子どもの権利に関する条例にうたわれている「すべての子どもにやさしいまち」の具現に向けた取組の充実が求められているのではないかと考えられます。

授業改善に向けて

全国学力・学習状況調査における松本市の小中学生の正答率は、全国と比較して同等あるいは高い傾向が示されました。これは、低位層が少ないことによるものと分析できます。また、上位層も少ない傾向であることも分かりました。上位層が少ないのは、長野県全体の傾向でもあります。

長野県の教員は、理解が遅い子どもの支援に力を入れて伸ばすことに重点を置く傾向があると言われています。しかしながら、「できる子どもは放っておいても自分で学ぶ」ととらえ、伸びる力を一層伸ばすことには注力しない傾向もあると言われています。

他県の中には、例えば算数で、早く問題を解いた子どもが難しい応用問題に挑戦できる機会を日常的に設けることで、子ども自ら「伸びる力をもっと伸ばそう」とする意欲を高める授業づくりを行っている県もあります。チャイムが鳴っても、難しい問題に挑戦し続ける姿が見られます。

松本市においても、「伸びる力を一層伸ばす」授業づくりが求められます。

公表の基本方針

- 調査結果を授業改善に活かすことを通して、児童生徒の学力の向上を図ることを目的としているため、教科に関する調査結果の具体的な数値は公表しておりません。
- 本調査は、育成する資質・能力の一部を調査したものであることにご留意ください。
- 学習状況等に関する質問調査結果については、児童生徒の回答状況を的確に把握するために、全国や長野県との比較や、経年変化を公表しています。

問い合わせ先 【部課名】 松本市教育委員会 学校教育課 学校支援室
 【連絡先】 電話：0263-33-4397

(1) 自己肯定感や幸福感等に関する状況

- ① 「自分には、よいところがあると思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに近年増加傾向にあります。
- ② 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに平成30年度よりも大幅に増加しています。
- ③ 「学校に行くのは楽しいと思いますか」との質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国に比べて低い状況です。

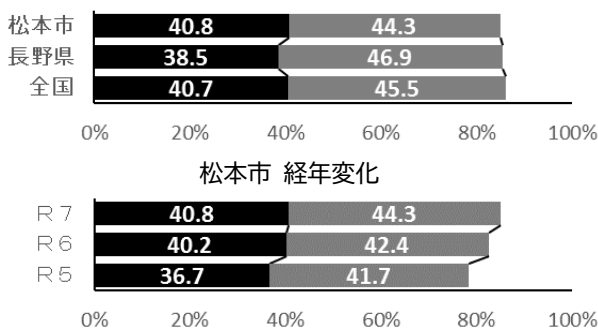
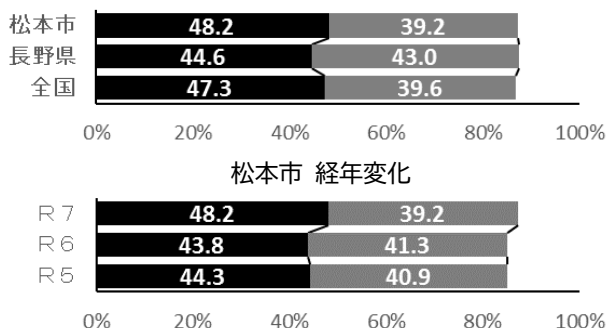
【凡例】 ■ 当てはまる・よくある等

■ どちらかといえば、当てはまる・ときどきある等

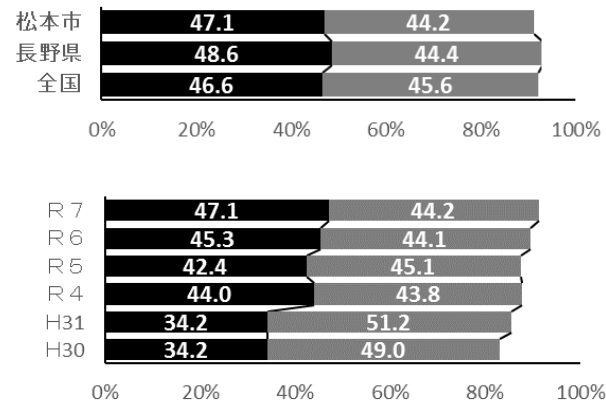
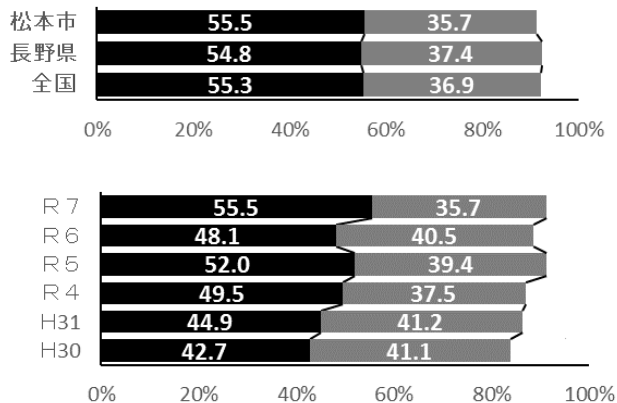
【小学校】

【中学校】

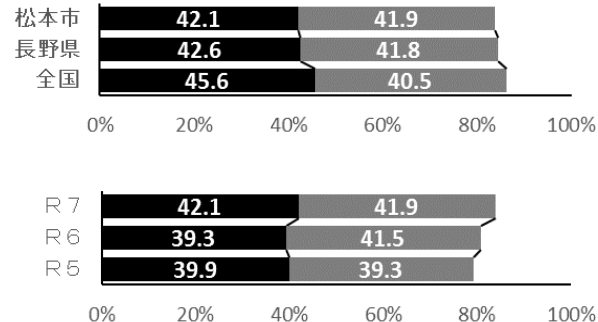
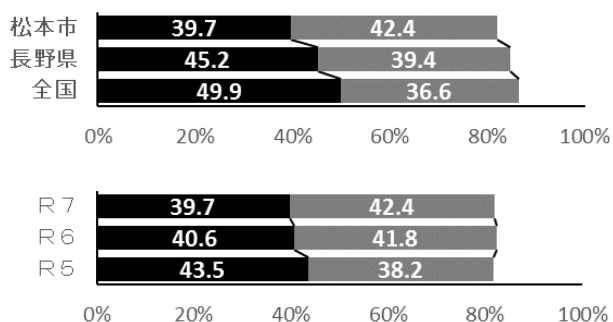
① 自分には、よいところがあると思いますか



② 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



③ 学校に行くのは楽しいと思いますか



(2) 他者との関わりや協働的な学びに関する状況

- ① 「友達関係に満足していますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに約9割で推移していますが、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は全国と比べても低い状況です。
- ② 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに9割を超えていますが、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は近年減少し、全国と比べても低い状況です。
- ③ 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに9割を超えています。

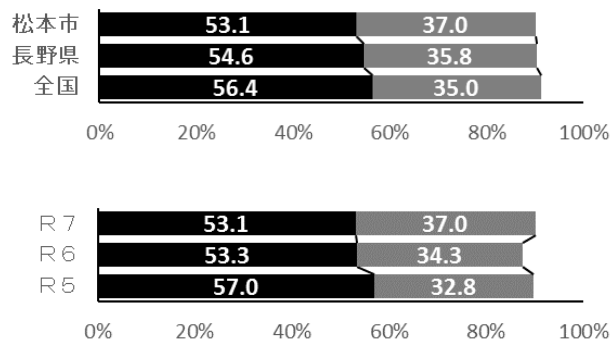
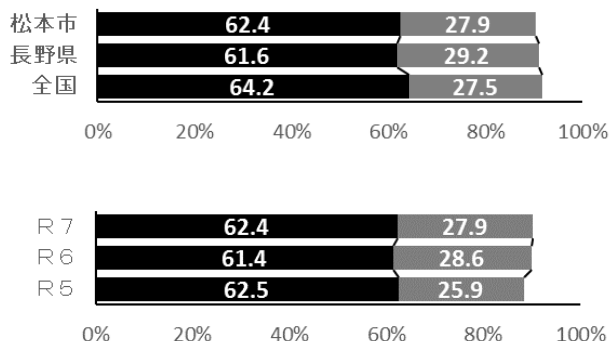
【凡例】 当てはまる・よくある等

どちらかといえば、当てはまる・ときどきある等

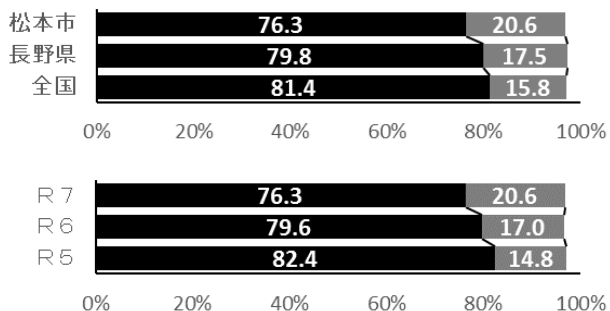
【小学校】

【中学校】

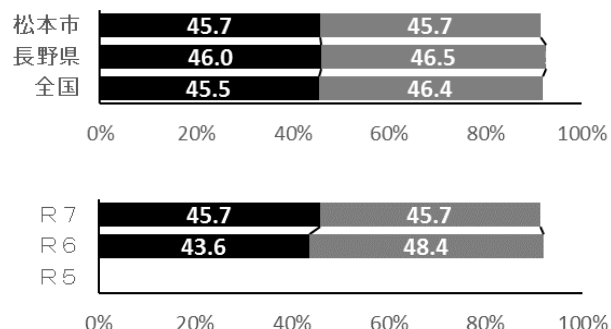
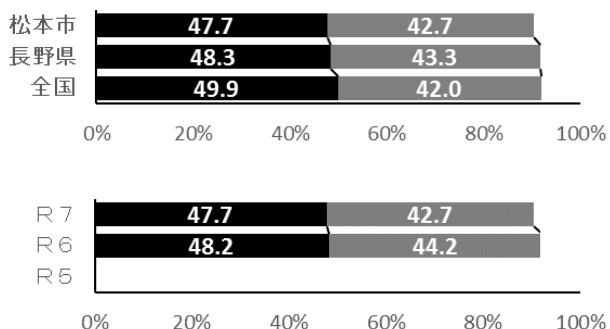
① 友達関係に満足していますか



② いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



③ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか (R6～)



(3)主体的・対話的で深い学びの視点から

- ① 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに増加傾向で、学習指導要領改訂前の平成31年度と比べると大幅に増加しています。
- ② 「前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに8割前後で推移しています。
- ③ 「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」との質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、近年減少しています。

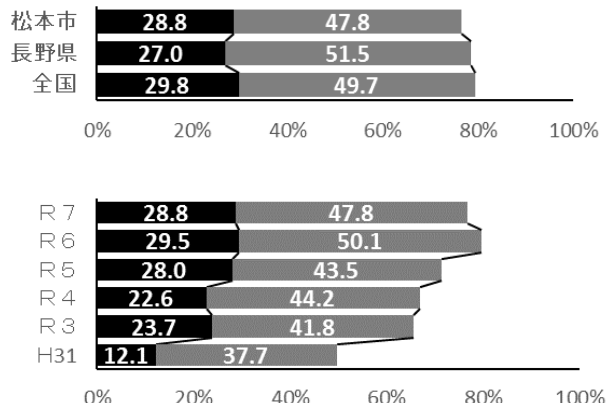
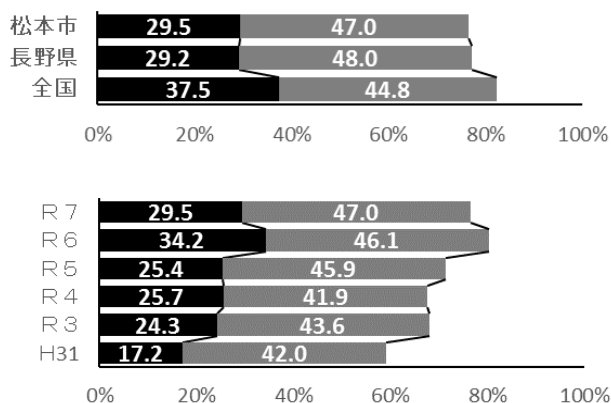
【凡例】 ■ 当てはまる・よくある等

■ どちらかといえば、当てはまる・ときどきある等

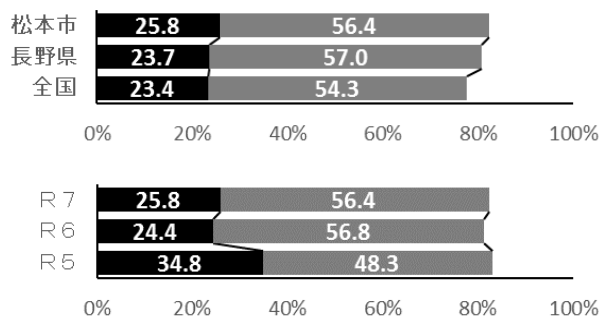
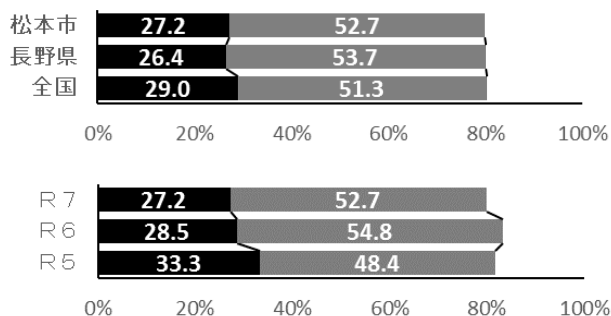
【小学校】

【中学校】

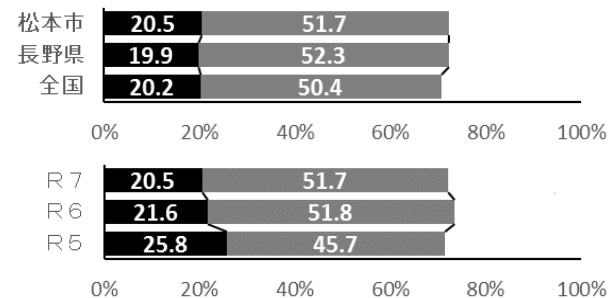
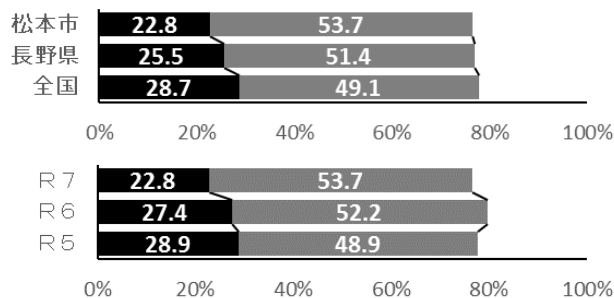
- ① 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



- ② 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



- ③ 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



(4) 国語に関する児童生徒の意識

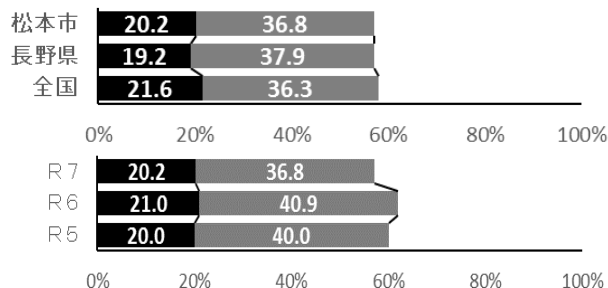
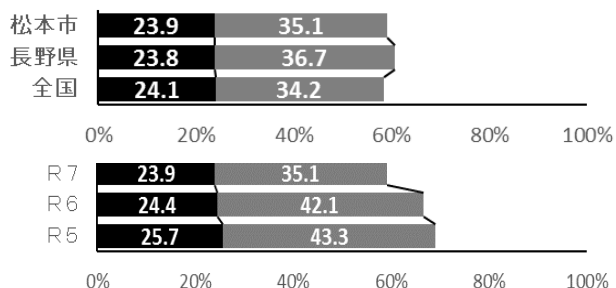
- ① 「国語の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、令和5年度と比べると減少しています。
- ② 「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、近年減少しています。
- ③ 国語の授業で文章を書くことに関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに全国より低い状況です。
- ④ 国語の授業で文章を読むことに関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに全国より低い状況です。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

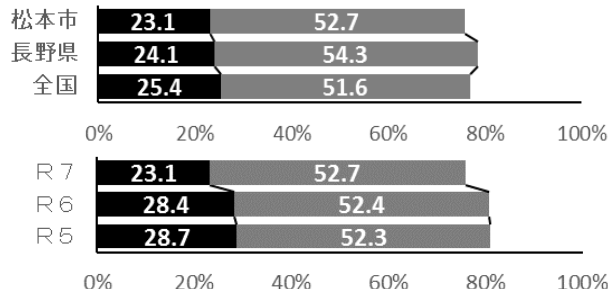
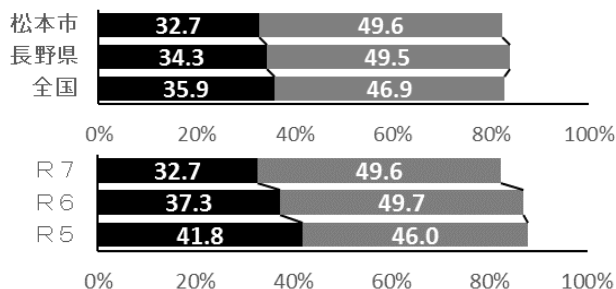
【小学校】

【中学校】

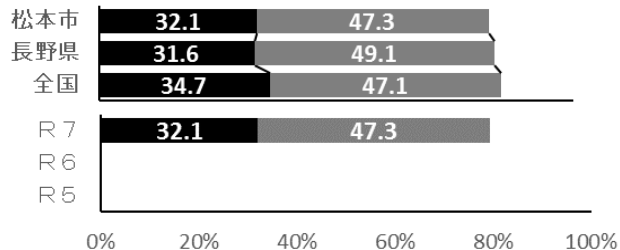
① 国語の勉強は好きですか



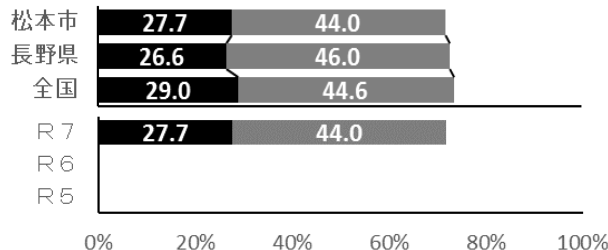
② 国語の授業の内容はよく分かりますか



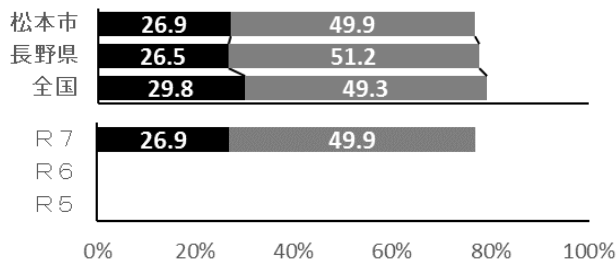
③ 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか (R7～)



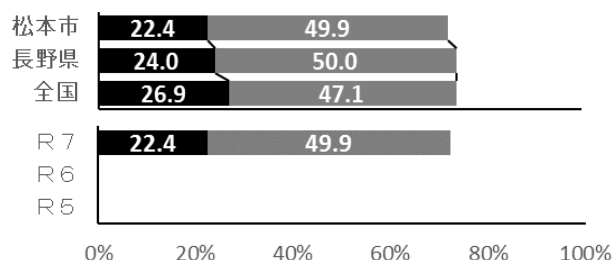
③ 国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか (R7～)



④ 国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけられていますか (R7～)



④ 国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えられていますか (R7～)



(5) 算数・数学に関する児童生徒の意識

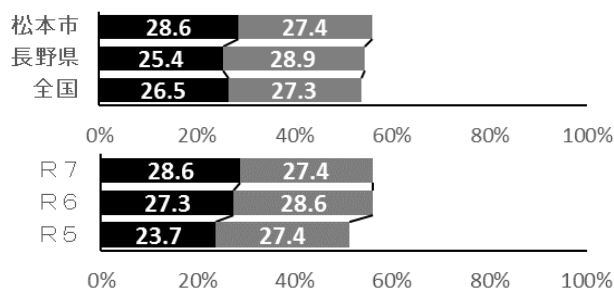
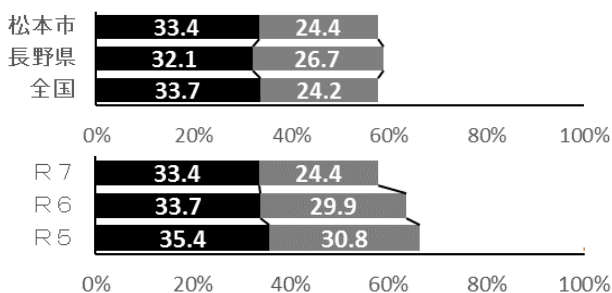
- ① 「算数・数学の勉強は好きですか」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校では近年減少し、中学校では近年増加しています。
- ② 「算数・数学の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに昨年度より減少しています。
- ③ 「算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校・中学校ともに昨年度より減少しています。
- ④ 「算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校では全国より少なく、中学校では全国より多い状況です。

【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

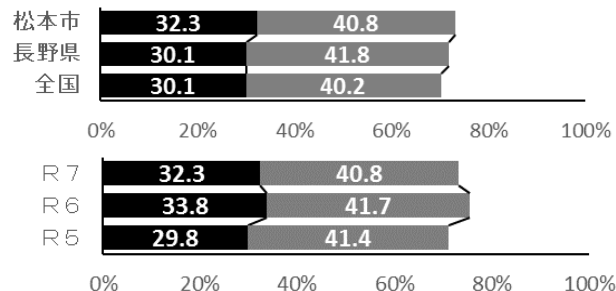
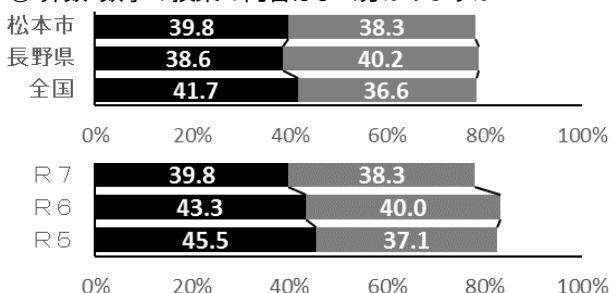
【小学校】

【中学校】

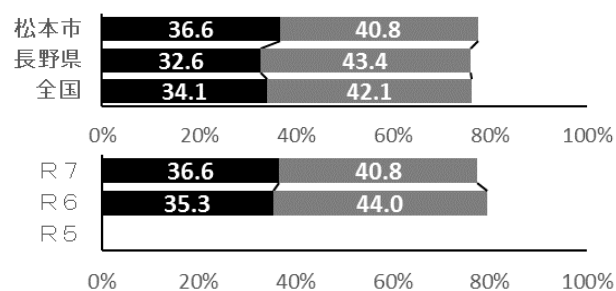
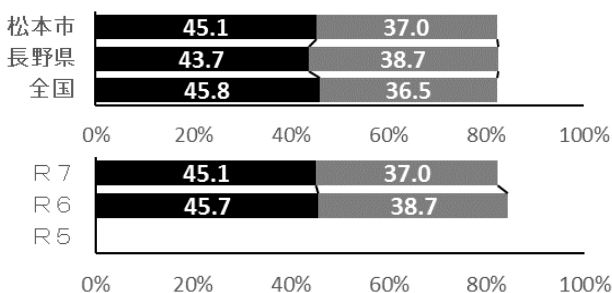
① 算数・数学の勉強は好きですか



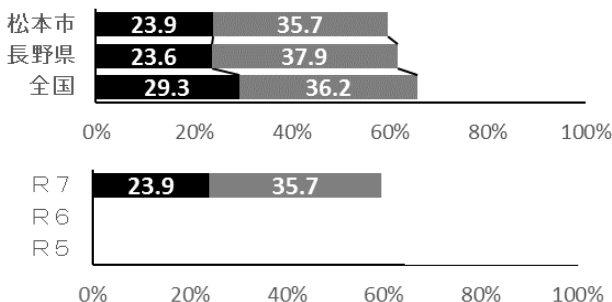
② 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



③ 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか（R6～）



④ 算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか（R7～）



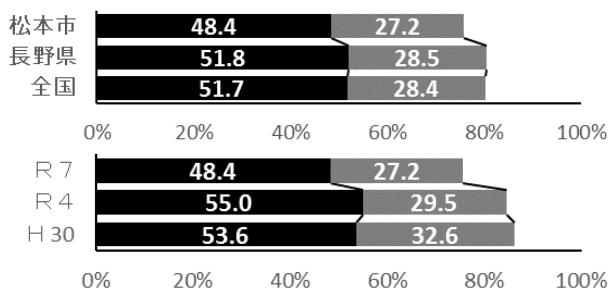
(6) 理科に関する児童生徒の意識

- ① 「理科の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。
- ② 「理科の授業の内容はよく分かりますか」の質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。
- ③ 理科の問題解決・探究の過程に関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。
- ④ 理科の授業の振り返りに関する質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校では全国を下回り、中学校では全国を上回っています。

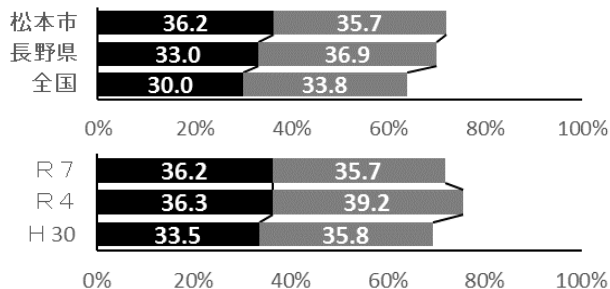
【凡例】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

【小学校】

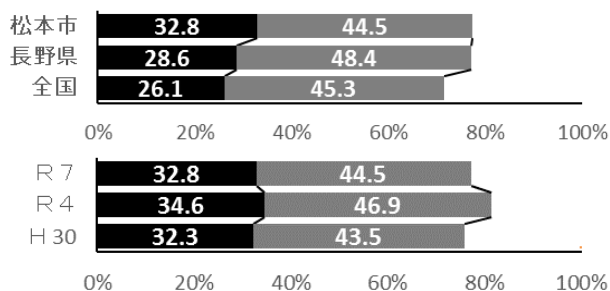
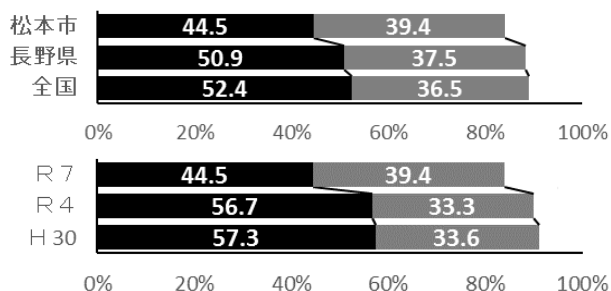
① 理科の勉強は好きですか



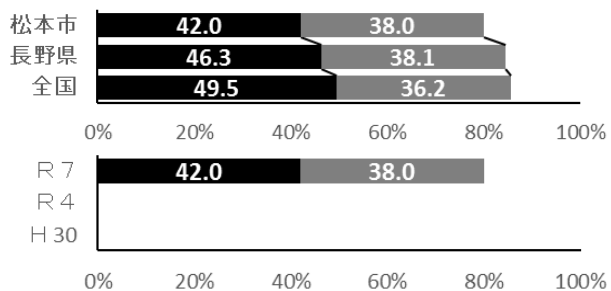
【中学校】



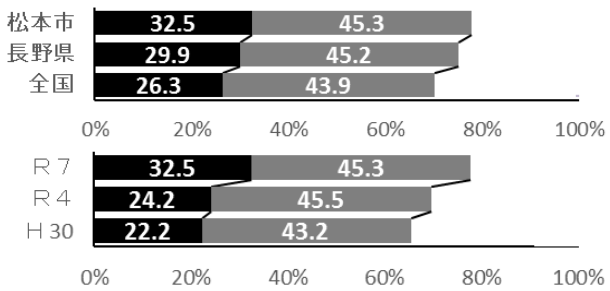
② 理科の授業の内容はよく分かりますか



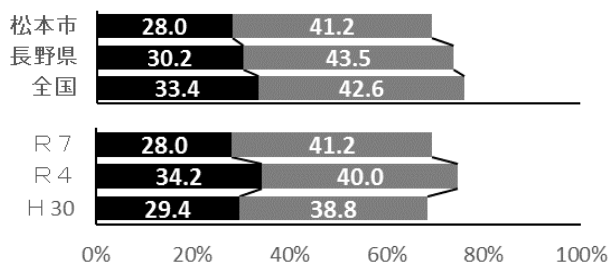
③ 理科の授業では、問題に対して答えがどのようなのか、自分で予想(仮説)を考えていますか



③ 理科の授業では、自分の予想(仮説)をもとに観察や実験の計画を立てていますか



④ 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか



④ 理科の授業で、課題について観察や実験をして調べいく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか (R7~)

